

宇治田原町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

ふるさと応援キャリア教育事業

事業の経過・背景・課題

中学生が授業をとおして、ふるさとへの愛着や誇り、まちづくりに関わろうとする自負を持ち、自分のキャリアを主体的に設計し、実現させていく力をつけることにより、町人口が減少傾向の中にあっても、将来住み続けたい町としてふるさとを認識することができる。

本町の「教育の重点」の「育てたい子ども像」においても、「誇りを持ってふるさとを語れる子」を挙げており、シビックプライド（まちへの愛着や誇り）の醸成・ふるさとに愛着を持てる教育を推進する。

取組内容

交付実績額： 237 千円

中学生を対象に、町内企業と連携し町の魅力を伝える商品開発を行う。

・小さい町ならではのメリットを生かし、株式会社宇治田原製茶場様や株式会社ヤマコー様や株式会社上尾製菓様など地元企業との連携により、生徒一人一人が実際の商品開発に携わり、地域資源を見つめ直す機会とする。

・魅力のある商品づくりを通して企業活動や自身のキャリアについて考える。

・ふるさと納税返礼品としての商品を考えることで、シビックプライドを醸成する。

【スケジュール】

5月：協力企業募集

11月～1月：商品開発授業実施

【実際に商品化されたもの】

- ・茶ッピー茶歌舞伎ガチャBOX
- ・ハートティーバッグ
- ・ダンボールテント
- ・ダンボールスマホスタンド
- ・ネコタツラムネ
- ・10円ラムネ



事業の成果・今後の展望等

商品開発や協働的な学びを通して、未来を担う子どもたちのシビックプライドの醸成やキャリアデザイン力の向上が図れた。

協力企業の確保が大きな課題ではあるが、生徒たちのアイデアが実際の商品になることで、キャリアについてイメージする効果的な事業となっていることから、引き続き協力企業の確保に努め、事業を継続していく。

問い合わせ先

宇治田原町教育委員会学校教育課（0774-88-6612）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

先端プログラミング教育推進事業

事業の経過・背景・課題

学習指導要領の改正により、中学校においては令和３年度よりプログラミング教育が必修とされた。
社会の様々なところでDX化が進展する中、小・中学校の授業においてSTEAM教育を実践することにより、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する、Society5.0に対応できる人材を育成することが必要となっている。

取組内容

交付実績額： 753 千円

専門事業者と連携し、プログラミング的思考力、行動力、コミュニケーション能力を育成する取組を実施

- ・プログラミングによるロボット自動車の制御などを体験することにより、知的好奇心や探究心を引き出し、その基盤をベースとしたITの素養や理解、論理的思考能力を高めることを目的とした授業を展開する。



小学校での取組：プログラミングソフト「スクラッチ」と自動車ロボットを使い、自動運転システムのプログラミングなどを体験

中学校での取組：実際にAIや機械学習などの分野で幅広く使われている「Python」というプログラミング言語を学習し、ゲームを作成

事業の成果・今後の展望等

小学校では、社会の様々なシーンで使われているプログラミングの一端（プログラミング×動く機械等×センサー）を体験することで、画面上だけでなく実社会におけるプログラミングの理解を深めた。

中学校では、実際の開発に近い形での体験をすることで、プログラミングでできることの理解を深めるとともに、どのように活用すれば社会課題の解決につながるかなどを考えることを通して、近未来への先見性を持ったキャリアデザイン力アップを目指すことができた。

専門の業者に委託し、教員ではできない専門的な授業を行うことで、児童生徒の興味を引き出すなどの効果が得られた。

今後も引き続き、学年に応じた多様な授業を展開していく。

問い合わせ先

宇治田原町教育委員会学校教育課（0774-88-6612）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

A I ドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業

事業の経過・背景・課題

児童生徒の学力充実のためには、小学生からの基礎学力の底上げ・定着が必須である。
基礎学力の向上には、個別の学力に応じた反復学習が必要であるが、通常授業では個別の学習教材を用意することは難しく、苦手分野のサポートが十分でない状況にある。
このため、児童生徒 1 人 1 台のタブレット環境を活用して A I ドリルを導入し、個々の習熟度に応じた反復学習を可能にし、基礎学力の定着を図る。

取組内容

交付実績額： 511 千円

小中学校の児童生徒すべてのタブレット端末に、個別の学習状況に合わせた問題が出題され習熟度に応じて問題が反復され出題される、A I ドリル「ミライシード（ドリルパーク）」を導入し、児童生徒の自主的な反復学習を推進する。

- ・ 1 人 1 台タブレット環境を活用し、個々の習熟度に応じた反復学習を可能にする
- ・ 学習履歴をデータ化することにより教員のきめ細やかな個別指導につなげる



事業の成果・今後の展望等

A I ドリルを使用することで、個々の習熟度に応じて、基礎の定着から表現力アップまで幅広く、個別最適化された学習環境を提供し、解き直しによるつまずき解消や自主的な学習の習慣化を図った。

また学習履歴をデータ化することにより、教職員による効果的できめ細やかな個別指導へ繋げることができた。

反復学習の成果が見えることで子どもたちのやる気につながるとともに、教員による個別のきめ細かい指導につなげることができるため、今後も継続して事業を展開していく。

また、授業研究などを通して効率的な活用方法を検討する。

問い合わせ先

宇治田原町教育委員会学校教育課（0774-88-6612）

宇治田原町

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

家庭学習等支援事業

事業の経過・背景・課題

各学校では、児童生徒の学力向上のため学校内研修等を行い工夫した授業を実施しているが、若手教員が増加し中堅層が減少している中、学校内研修のみでなく学校外との連携により教員の資質向上に取り組む必要がある。

また、児童生徒の更なる学力向上のために、家庭での学習を強化する必要がある。

取組内容

交付実績額： 1,206 千円

民間教育機関と連携し、家庭教育の学習機会を提供するとともに、教員の更なる指導力向上のため有識者による授業研究を行う。

【学校授業教育研究】

○教員対象

- ・若手教員を対象に、教育委員会や有識者（大学名誉教授）による授業参観や研修を実施

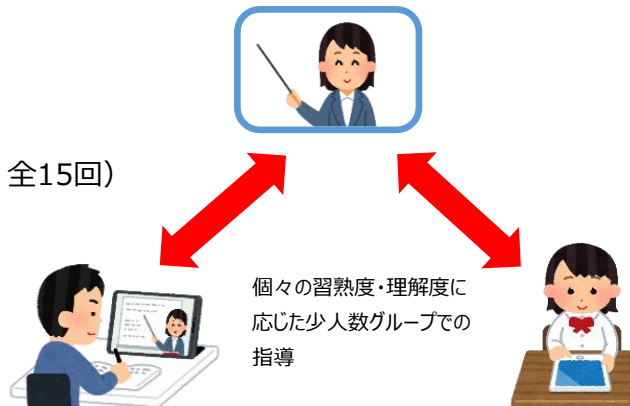
【オンライン家庭学習支援】

○児童生徒対象

- ・民間教育機関と連携し、少人数指導型の学びの場（1クラス5人程度・オンライン授業）を提供

11月：参加者募集

12月上旬～3月末：授業実施（週1回程度、全15回）



事業の成果・今後の展望等

教員対象の学校授業教育研究については、有識者による授業参観及び評価や研修により、若手教員の指導力向上が図れた。

児童生徒対象のオンライン家庭学習支援については、少人数の個別授業により、苦手教科の重点的な学習をサポートすることができた。

今後は、教員対象の学校授業教育研究について、引き続き有識者の協力を得て年間を通して実施していく。

問い合わせ先

宇治田原町教育委員会学校教育課（0774-88-6612）